

美術授業について

1 授業の約束

- ① 一回一回の授業時間を大切にすること。授業内で話を聞くときと作品をつくるときのメリハリを大事に。
- ② 持ち物を忘れずに持ってくること。
- ③ アイデアや作品のテーマについてなど考えが授業内でまとまらないときは次の授業までに考えてくること。
- ④ 最後まで作品をよりよくしようとする気持ちを持つこと。

2 美術の授業で「大切なこと」

- ・美術では作品をただつくるだけではいけません。しっかりと考えてつくることを意識しましょう。
- ・作品づくりを通して何を学んだが、何を表現したのかをしっかりと文章で伝えられるようにしましょう。

3 持ち物

- ① [教科書、資料集、ファイル、タブレット、筆記用具] は毎回もってくること。
- ② その他作品に必要なもの（はさみやのり、鉛筆など）などは授業でお伝えします。

4 家庭学習の仕方

- ・作品のアイデアが授業内で決まらなかったときは考えてきましょう。
- ・日ごろからいろいろなものに関心を持ち、学習に生かしましょう。

5 学習の評価について

次の3つの観点で評価し、それぞれの達成率が80%以上をA、50%以上をB、以下をCとします。評価は3つの観点の平均値が90%以上を5、80%以上を4、50%以上を3、20%以上を2、以下を1とします。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
★①作品（1つの題材で複数観点がある場合もあります。例：①デッサン/色、②デッサン/形） ★②テスト	★①作品カード（鑑賞カード） ★②下描き・アイデアスケッチ ★③ワークシート ・④テスト	★①授業態度（忘れ物） ★②提出物、振り返り ・③テスト
作品に関してはできているだけでは不十分です。得た知識や技能を自分の作品の表現に合わせて追求していたり創造的に活用できていると◎！また、作品に対する <u>手数</u> の <u>量</u> もポイントになってきます。	題材や作品についてどこまで考えているか、自分の考えをどう表現しているかをみます。ただ、何でも書けばいいわけではなく、 <u>授業の内容や大事なポイント</u> を <u>踏まえているかが重要です</u> 。作品カードは題材ごとの <u>レポート</u> のようなものと思ってください！	授業や作品に対して主体的に取り組んでいるかをみます。他の分野同様、ただ普通に取り組んでいるだけではBです。提出物の遅れや振り返り忘れなどは減点対象となります。
大体 [★①]：[★②] が 1 : 1 の割合で評価を出します。	[★①]：[★②]：[★③]：[・④] 1 : 1 : 1 : 1	[★①]：[★②]：[・③] 1 : 1 : 1※ ※配点によっては割合が減ります。